

福山市介護保険事業所・施設等の
新型コロナウイルス感染症への取組に係る

好事例集

2021年3月 第2版



ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」

福山市 介護保険課

はじめに

新型コロナウイルス感染症が国内でその猛威を振るい始めてからこれまでの間、事業所・施設等の皆様にあっては、感染を予防しその拡大を阻止し、重症化リスクの高いとされる高齢者のいのちと健康を守るため、日々、細心の注意を払い労苦をいとわず、様々な御努力御尽力をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。

マニュアルに記載してある様々な感染予防対策を具体的に実施するのは、最前線の現場にいる職員の皆様です。様々な工夫を凝らしながら、それを「生きたものとして」ほんとうに有効なものとして現実化していくのは、現場の皆様の知恵や工夫にかかっています。

これまで、様々な現場で多くの皆様が様々なことに取り組み、そこにはきっとたくさんの知恵や工夫、知見が蓄積されているはずです。それを市内の全ての事業所・施設等で共有することが出来れば、新型コロナウイルスと闘うための大きな武器となります。そういった考えから、今回、失敗事例を含む「好事例」の収集と公開というスキームを企画しました。

事業所・施設等の皆様に情報提供をお願いしたところ、非常にたくさんの知恵・工夫・あるいは失敗例を御提供いただきました。実用的な事例・有効性の高い事例が数多くある、あるいは現場の皆様が相互に「気付き」を共有し、さらなる工夫に繋がられる、そんな事例集としてまとめることができたのではないかと考えています。

ひとつひとつの事例に、現場での実際の実践と知恵や工夫が詰まっています。ぜひとも丁寧にお読みいただき、御活用いただきたいと考えております。

なお、記名を許可していただいた事業所・施設等については、法人名又は事業所・施設等の名称、電話番号を掲載しています。事例の詳細については、当該事業所・施設等にお問い合わせいただくことができます。

この好事例集が、介護サービスを提供する事業所・施設等の皆様にとって、感染症対策と新型コロナウイルス感染症影響下での適切なサービス提供の実現のための一助となれば幸いです。

2020年8月

事業者指定・指導担当課長

改訂履歴

■ 2020年8月 初 版 発行

事例収集方法 ： 新型コロナウイルス感染症に係る「第2波に備えての知恵や工夫」に関する情報提供のお願い（2020年7月）

■ 2021年3月 第2版 発行

事例収集方法 ： 感染予防対策の実施状況に関するアンケート調査（2020年12月）

※2020年12月に実施した感染予防対策の実施状況に関するアンケート調査により、予想を上回る多数の好事例が集まったことから、この度、第2版を発行することが出来ました。「マスク着用が困難な方への対応」や「入浴介助時の感染対策」、「健康管理の方法」等、多くの知見が集まりました。お寄せいただいた知見を新たに分類し、大幅に事例を追加しました。追加事例には、長期に渡り新型コロナウイルスと向き合う現場に対応されてきた皆様だからこそわかる具体的かつ実用的な事例が多くあることと思います。

未だ終息の見通しが立たない中、この好事例集（第2版）が、介護サービスを提供する事業所・施設等の皆様の知見の共有や直面する悩みの解決の一助となれば幸いです。

なお、追加事例には、備考欄に「2021年3月追加」と記載しています。

目 次

第 1 章 基本的な感染対策

1 - 1	消毒	1
NEW! 1 - 2	手指消毒	2
1 - 3	手洗い	3
1 - 4	マスク等	4
NEW! 1 - 5	マスク着用が困難な方への対応	6
NEW! 1 - 6	エプロン・ガウン	8
1 - 7	3密回避	9
NEW! 1 - 8	飛沫防止	11
NEW! 1 - 9	換気	12
NEW! 1 - 10	職員の食事	13

第 2 章 サービス提供に係る取組

2 - 1	食事	14
2 - 2	送迎	15
2 - 3	入浴	16
2 - 4	利用者のメンタルケア	17
2 - 5	利用者に役立つ情報提供	18
2 - 6	ケアマネの知恵や工夫	20

第 3 章 来訪者への対応

3 - 1	入館前	21
3 - 2	記録	22
3 - 3	対応	23

3 - 4	ICT の活用	24
-------	---------------	----

第 4 章 健康管理

4 - 1	利用者の健康管理	25
4 - 2	職員の健康管理	26

第 5 章 啓発・情報共有

5 - 1	啓発	28
5 - 2	情報共有	29

第 6 章 感染発生時に備えるための取組

30

第 7 章 その他

31

この「好事例」に関する情報提供は、

今後も引き続き受け付けます。

事業所・施設等において新たな知見が

ありましたら、ぜひ情報提供をお願いします。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/uploaded/attachment/167438.docx>



第1章 基本的な感染対策

1-1 消毒

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
1	学習活動、レクリエーション活動で使用した物品は消毒を毎回行う。			
2	手洗い場のふき取りをこまめに実施した。	山陽病院 通所リハビリテーション	084-923-1133	
3	手洗い・消毒の正しい方法を看護師から指導してもらう為、勉強会を行った。	医療法人紅萌会福山記念病院	084-922-0998	
4	電話機は、通話するたびに消毒をしている。			2021年3月追加
5	会議や面談後は、椅子、テーブル、パーティション、ドアノブ、ボールペン、手すり等を消毒している。			2021年3月追加
6	消毒に必要なもの一式を箱に入れてセットを作り、常備している。			2021年3月追加
7	エレベータを使用する毎に消毒できるよう、エレベータ内の利用者の手の届かないところに消毒セットを設置した。			2021年3月追加
8	チェックシートに消毒する場所、物、時間、役割分担を記載し、消毒後に記録している。			2021年3月追加



1-2 手指消毒

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
9	来所時は玄関で手指消毒を行い、洗面台で手洗い・うがい・消毒を行った後、靴底、杖の底や車椅子、歩行器のタイヤなどを消毒。			
10	手指消毒を行ってから介助を行い、介助後は必ず手洗いと手指消毒を行った。「1工程1手洗い」を徹底した。	株式会社ディア・レスト福山	084-977-0880	
11	すぐに使用できるよう手指用アルコールを多くの場所のわかりやすい位置に設置した。			
12	スタッフ全員に持ち歩き用の消毒液を配布しいつでも消毒できるようにする。	有限会社愛の手	084-931-3754	
13	こまめに手指消毒できるようにスタッフ一人につき1つ持ち歩き用に消毒液を配布した。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	
14	ヘルパーにそれぞれマスクと携帯用消毒液を提供し、常時使用を義務付ける。	有限会社愛の手	084-920-9127	
15	利用者宅への訪問前後に手指消毒が行えるように、各自携帯用の容器に消毒液を入れて、カバンの中に持参している。	備後の里	084-976-6530	
16	各職員がアルコールスプレーを携帯し、個人宅へ訪問する前に必ず手指消毒を行っている。	社会福祉法人明翠会 北斗	084-930-4500	
17	施設勤務時、外回り、送迎時、アルコールのミニボトルを携帯して利用している。	リハビリセンターゆうゆう戸手	0847-54-0150	
18	トイレの大便器の横に、アルコールスプレーを置いて、写真入りのポップをわかりやすく作成し、消毒をしてもらうようお願いをした。	デイサービスセンターマーブルワン	084-945-5073	
19	朝礼で病院を出入りする時の手指消毒のタイミングを職員で唱和している。	医療法人紅萌会福山記念病院	084-922-0998	
20	レクリエーションの時は、共有する物に触れる前後に手指を消毒する等の配慮をしている。			2021年3月追加

1-3 手洗い

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
21	手洗場の水道の取っ手をハンドルレバーに交換して、手洗いのストレスを軽減した。	福山市地域包括支援センター 箕島	084-981-1856	
22	トイレのエアージェットを中止し、ペーパータオルに変更した。	山陽病院 通所リハビリテーション	084-923-1133	
23	すべての洗面所の目立つところに、手洗いの仕方の説明図を貼って、手洗いを正しくしてもらった。	デイサービスセンターマーブルワン	084-945-5073	
24	事業所内で正しい手の洗い方のイラスト掲示・動画教育。	シニアフィットイヨウ西深津ルーム	084-983-1540	
25	認知症の症状があまり進行していない利用者様には手洗いの仕方の説明をし、洗面台に貼っている手洗い方法のポスターを見ながら実施した。			
26	きちんと手洗いができるように、手洗い場に「正しい手洗いの仕方」の絵を貼った。	株式会社ディア・レスト福山	084-977-0880	
27	手洗いを習慣づくまで一緒にする。			
28	正しい手洗い方法を習慣づける為に、歌体操や映像を見ながら、一緒に楽しく出来るよう色々なパターンを使って、利用者へ手洗い方法の助言を行っている。			
29	30秒間手洗いをしてもらうために、「どんぐりころころ」の歌の1番を2回繰り返しながら、手洗いをするように呼び掛けた。			
30	洗が残しのわかる機器を導入し、利用者様と職員に普段の手洗いでどれだけ洗が残しがあるかチェックしてもらった。			
31	手洗いの際はヘルパーが見守り、しっかり手洗いしてもらえよう声掛けしている。			2021年3月追加
32	自分で手を洗えない人は、介助にて手洗いをしている。			2021年3月追加
33	拘縮等により蛇口で手洗いが出来ない方は、アルコール等を使用して消毒している。			2021年3月追加

1-4 マスク等

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
34	通所リハビリテーション科の職員が手作りの布マスクを利用者に無料で配布し、マスク着用の徹底を行った。	医療法人紅萌会福山記念病院	084-922-0998	
35	マスクの使用を徹底し、マスクが不足していた時期はレクで手作りマスクを作成していただき、使用していただいた。			
36	簡易フェイスシールドの作り方について説明書を作成し、サロンなどで作成、利用及び啓発をしている。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	
37	ネットワーク会を利用して介護保険事業所へも簡易フェイスシールドの作り方について啓発をしている。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	
38	防護服、フェイスシールドを手作りし、新型コロナウイルスの感染対策に努めた。	医療法人紅萌会福山記念病院	084-922-0998	
39	マスクを外すタイミング（時間帯など）を決めて、熱中症対策に努めている。	医療法人紅萌会福山記念病院	084-922-0998	
40	サージカルマスク不足の状況の中、当社で共同開発した「布マスクウォッシュ」（抗菌グレープフルーツ果汁入）を全スタッフに無償配布し、国等から頂いた布マスクを有効かつ継続的に使用し、マスク不足の状況をのりきった。	有限会社ユー・アンド・ミー	084-980-9100	
41	失敗例：利用者に布製マスクを提供していたが、紛失が多く、管理不足がみられた。			
42	今後に備えて、マスクや消毒液、手袋等の衛生用品について、価格が落ち着いたところを見計らってまとめ買いして備蓄している。			
43	全職員、サージカルマスクの着用を徹底している。			2021年3月追加
44	職員は訪問時にマスクを着用し、玄関先等での面談や訪問時間を短くするよう工夫している。			2021年3月追加
45	事業所で使い捨てマスクを購入し、職員全員に配布している。			2021年3月追加

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
46	難聴の利用者には、持ち運びができるホワイトボードや紙での筆談等に対応している。			2021年3月追加
47	利用者全員にマスクを配布している。			2021年3月追加
48	利用者に合わせた大きさの可愛いマスクを手縫いして着用して頂くと喜ばれた。			2021年3月追加
49	サービス提供時にマスクを着用されていない場合やマスクが不潔な場合は、施設備品のものを提供し装着していただいている。			2021年3月追加
50	自宅訪問時にマスクをしていない利用者やご家族には声掛けをして、着用を促したり、新品のマスクを差し上げたりしている。			2021年3月追加
51	マスクを着用しているが、鼻・口が出ている時があるので、職員がその都度注意している。			2021年3月追加
52	飲食や入浴等でマスクを外した後に、うっかりそのまま他者と会話する方がいるが、職員が声掛けをし、マスク着用を促している。			2021年3月追加
53	リハビリ中は息苦しくなるため、やむを得ずマスクを外しているが、発声しないよう声かけを行っている。			2021年3月追加
54	通所サービスの利用中は、マスクを外す、あごにマスクをずらす等している利用者を見かけたときは職員が個別に話をして、着用を指導している。 食事の時は個々にマスクケースを利用して頂き、再装着時に不潔にならないよう工夫をしている。 また、通所サービス利用者には、福山市から出される市民向けのコロナに関する市長メッセージ等を連絡帳に添付し、また帰宅時に再度口頭でマスク着用等についてのお話をしている。			2021年3月追加



1-5 マスク着用が困難な方への対応

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
55	マスクを外される利用者様が多いので、その都度声掛けをしたり、定期的にコロナウイルスの話題を出す事で注意喚起を促している。			
56	利用者が自分でマスクを外してしまったり、管理ができないため、マスクの色を毎日変えている。			2021年3月追加
57	自宅からマスクを着用して来ることが難しい方には、家族からマスクを預かり、送迎スタッフが施設の玄関で手渡しようにしている。			2021年3月追加
58	マスクでは息苦しく、会話しにくい利用者もいる。着用が難しい場合は距離を取って会話するようにしている。			2021年3月追加
59	マスクで息が苦しいと訴える方に、マスクの間に入れて呼吸をしやすいする用具を使うと対処できた。			2021年3月追加
60	認知症の方はマスクをすぐに外してしまうので、常に声かけを行なっている。			2021年3月追加
61	認知症の方はマスクを外してしまわれるので、何度も声掛けが必要。紛失も多いので、マスクに名前を書いたり予備を持参してもらったりしている。			2021年3月追加
62	認知症の人はなかなか理解できない事があり、マスクを常時つける事は難しい。屋外での活動を組み合わせながら感染リスクを下げる工夫をしている。			2021年3月追加
63	グループホームでは、皆様認知症があり、マスクをつけることを説明してもすぐに取りられてしまう。距離を離す・テーブルにパーテーションを設置する・こまめに換気を行う等の対策をしている。			2021年3月追加
64	認知症の方はマスクをすぐ外してしまう。着用の継続は困難なため、座席間隔や座席場所を工夫して対応している。			2021年3月追加
65	認知症による異食がありマスクができない利用者には、なるべく前の席に座ってもらい、他の利用者に飛沫が拡散しないよう配慮している。			2021年3月追加
66	認知症によりマスクの着用が困難な利用者は、職員がマスクを着用し、面談後も手洗い、手指消毒など心がけている。強制は出来ないため、職員側がしっかりと感染対策を行い、「うつさない・うつらない」を心掛けている。			2021年3月追加

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
67	認知症のため、マスク着用の理解が難しい。 体調不良者は、居室での対応とし、他利用者との接触を避けている。頻回に換気を行っている。			2021年3月追加
68	認知症によりマスクの着用や部屋での隔離は困難。入居者に風邪症状があるときは、まずは部屋での隔離とマスク着用をお願いしている。困難なときは、共有スペースで過ごしている他の入居者のマスク着用や居室に帰れる方は帰っていただく等の対応をしている。症状のある方が歩いた所や、手で触った所はすぐに消毒している。			2021年3月追加



1-6 エプロン・ガウン

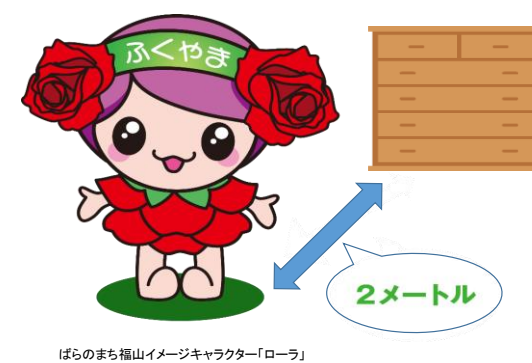
No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
69	ガウンテクニックを看護師から介護職員に実演で伝え、直接説明できない職員には紙面で伝えた。			
70	訪問するたびにエプロンを交換している。			2021年3月追加
71	エプロンの入手が難しいため、一部をゴミ袋で代用している。			2021年3月追加
72	エプロンの着脱の方法をパネルにして掲示し、鏡とパネルを見ながら着脱できるようにしている。			2021年3月追加
73	エプロンを着用して訪問するのは大げさに見えるため、感染予防対策としてエプロンを着用することを事前に説明している。			2021年3月追加
74	職員は感染対策セット（エプロン、手袋、消毒液等）をいつも持ち歩いている。送迎車にも常備している。セットには装着手順の説明書も入れており、誰が見ても分かるようにしている。 また、毎年各部署でセットを実際に使う研修を行っている。			2021年3月追加
75	エプロンやガウンをすぐに使用できるよう【感染症キット】として保管し、毎日点検している。			2021年3月追加



1-7 3 密回避

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
76	大きなサービス変更のある担当者会議は外で間隔を保ち行った。			
77	密接にならないように机の間隔を空け、間隔を空けて着席するように誘導。			
78	それまで向い合せだったルーム内の配席を、一方向に向くよう変更するの に、限られたスペースで人の移動の安全も考えてテーブルを配置した。			
79	入院患者様との接触を避けるために使用するエレベーターを分離した。	山陽病院 通所リハビリテーション	084-923-1133	
80	建物内部の移動を職員と利用者の方とわかる。			
81	出勤時間をずらしてなるべく所員が事務仕事をする時間を重ならないように した。			
82	毎月行っているミーティングを中止し、連絡必要事項はアプリ等にてスタッ フに周知した。			
83	自分の健康管理、検温、マスク着用、消毒などを守る。必要最低限で効果の ある訪問を心掛けている。面会の必要の無いことは電話やメールで実施。	ケアプランセンター菜の花	084-958-3135	
84	人との接触を最小限にする為、事業所・病院へ訪問しての書類の受け渡しは ポスティング又は玄関先での受け渡しをしている。	社会福祉法人明翠会 北斗	084-930-4500	
85	外来受診を定期的に行っていたが、他患者様と接する機会があるため訪問診 療を取り入れた。			
86	トレーニング時の密を避けるため、少人数ごとに移動、実施し、終了時には 手指および器具のアルコール消毒を行っている。			
87	訓練時、体操や温熱療法時もソーシャルディスタンスをとりなるべく対面し ないように座椅子の位置・方向を調節した。	山陽病院 通所リハビリテーション	084-923-1133	
88	全体での行事を取り止め、各フロアごとに体操や行事を行っている。			2021年3月追加

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
89	訪問時の面談は、玄関先で行っている。玄関先で面談が出来ない場合は、距離を確保出来る部屋で面談をしたり、訪問時間を短くする工夫をしている。			2021年3月追加



1－8 飛沫防止

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
90	むせこむことが多い方の席の周りについたてを設置している。			2021年3月追加
91	以前はフロア内を透明のビニールカーテンで仕切っていたが、現在は大型の飛沫防止パネルを設置している。			2021年3月追加
92	対面のデスクとは2m、隣のデスクとは1mの距離を取り、外部の方との面談に使う相談室には飛沫防止パネルを設置している。			2021年3月追加
93	飛沫感染防止のパーティションが透明でぶつかりやすいので、シールを隅に貼ったり、花などの印をつけたりして、見えやすくしている。			2021年3月追加
94	飛沫感染防止用のパーティションに光が反射し、利用者が気分不良等になることがあるので、室内灯や太陽光の差し込みに注意をして対応している。			2021年3月追加



1－9 換気

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
95	共有部は24時間、南北の窓を少し開けて換気している。暖房をいつもより温度高め、風量強めで湿度をあげている。			2021年3月追加
96	常に窓を開放し、外へ向けて扇風機を付けている。 寒いと利用者が窓やドアを閉めるので、暖房器具やひざ掛けなどで寒さ対策をしている。			2021年3月追加
97	室温の急激な低下を防ぐために二段階換気を実施している。			2021年3月追加
98	タイマーを設置して換気をしている。また、換気のタイミングを館内放送で周知している。換気の実施をチェックシートに記録している。			2021年3月追加
99	行事は、換気をしながら行っている。レクはインターネットを活用し、画像や音声で活動出来るようにしている。			2021年3月追加
100	30分に一度、5分間の換気を行っている。寒いと言われる利用者もいるが、「換気しまーす」と元気に声かけして行くと、受け入れてもらえる。			2021年3月追加



1-10 職員の食事

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
101	職員休憩室で全職員、昼食を摂っていたが、6人掛けテーブルを1人用として制限し、事務所職員は事務所で摂るなど、密にならないようにした。	株式会社かもめいと	084-922-6355	
102	職員は各自の車で食事をとるなどしている。事務室は向かい合わせのデスクのため、間にカーテンを設置した。			2021年3月追加
103	休憩室の席を離し、また休憩時間を分散化している。			2021年3月追加
104	部署ごとに分けて休憩を実施し、室内にはついたてを設置している。更衣室は1度に入室する人数を制限している。			2021年3月追加
105	同時に休憩をとらないよう、なるべく一人ずつ休憩に入っている。二人同時になったときは、一人目が食事を終えてマスクをしてから、二人目が入室するよう時間差にしている。休憩中も窓を開けて換気をしている。			2021年3月追加
106	2つの休憩室を分散利用している。 1部屋に1人ずつ入り、休憩後はアルコールで机、リモコン等の消毒を行ってから次の人が使うようにしている。			2021年3月追加
107	職員の休憩室を会議室や事務所に分散し、異なる事業所同士の職員が接触しないよう工夫している。また休憩後は各場所ごとに消毒・換気を行っている。			2021年3月追加

第2章 サービス提供に係る取組

2-1 食事

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
108	食堂で食事を召し上がっていただく入居者様と居室で召し上がっていただく方と決め、密接状態にならないように努めている。			
109	食堂を封鎖し、個室で食べて頂いた。	ケアホーム安井の里	0847-54-2301	
110	昼食時は利用者同士が対面にならないよう間隔をあけ一列に並んでいただく。	有限会社愛の手	084-931-3754	
111	食事の時、密にならないように対角線上に座っていただいた。			
112	食事前（配膳）の手指消毒・テーブルの消毒は直前（5分前）とした。また、洗い方も洗面所前にイラストを貼った。			
113	いつも使用していた丸テーブルを撤去し、長机にし、3人掛けを2人掛けにした。			2021年3月追加



2-2 送迎

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
114	送迎車に乗る前に手指はアルコール消毒、カバン、杖、車椅子などは消毒を行う。			
115	可能な限り利用者様の送迎の便を増やし、密を避けた。			
116	送迎車中やエレベーターなど密になり易い所は人数を制限して乗ってもらう。			
117	送迎時に車の定員より少なく乗車していただき、窓を開けて換気し、密にならない様にした。			
118	送迎時の車中（エアコン稼働中）、フロントからの外気導入にシフトさせ、後部座席のみ両サイドの窓を少し空けることによって、エアコンを効かせながらも空気が良く流れる気がする。			



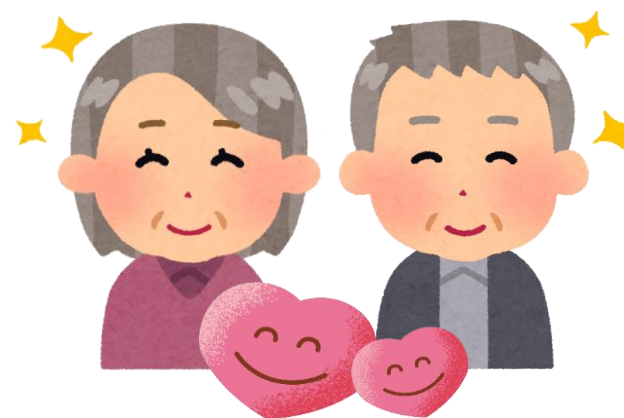
2-3 入浴

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
119	入浴介助中熱中症になるのが危険なので、水分補給、換気をこまめにした。			
120	入浴介助の際は手袋の着用を徹底した。手袋を外すときは、表面に触れないよう内側に丸めるようにして外した。			
121	入浴介助の際は、利用者1人に対し、職員1人に対応し、介助が終わるごとに手指消毒をした。			
122	入浴介助中は、暑く湿気で息苦しいが、全ての場面でサージカルマスクを着用している。			2021年3月追加
123	夏場の入浴介助用に冷感マスクを作成し、フェイスシールドと併せて着用した。			2021年3月追加
124	夏場の入浴介助中のマスク着用について、試行錯誤をした結果、介助中はマスクを着用し、介助後に浴室から出て涼しい空気を吸ったり、水分補給を行ったりと休憩をしっかりとることとした。			2021年3月追加



2-4 利用者のメンタルケア

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
125	外泊、外出の禁止期間が長くなり、入居者様のストレスが溜まっている事を実感している。そのため6/19から敷地内の散歩を可能とした。			
126	月2回、来所していただいていた訪問販売を再開し、入居者様の気分転換を図っている（入館時には感染対策を行う）。			
127	お休みをされるデイの利用の方に安否確認をし続けた。時に不安のないよう話をし、落ち着いていただけるよう施設で安心して過ごしていただけるようお話をした。			
128	利用控え等している利用者に対して、電話だとなかなか意思疎通ができないので、できるだけ訪問し、窓越しでもよいので利用者に顔を見せるようにしている。利用者・家族の安心になっていると思う。			



2-5 利用者に役立つ情報提供

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
129	健康づくりに関する主催行事休止期間はプリント郵送し自主的な取り組みへ声かけ。			
130	広報誌に写真付きの体操メニューを載せて、自粛中のフレイルを予防できるように配布した。	福山市地域包括支援センター 箕島	084-981-1856	
131	利用控え等をしている利用者の家族へ利用者の心身の変化がないか、いつもより気にしてもらおう伝えている。また、自宅でできる運動方法等について伝え、利用者が自宅で運動等をできるように働きかけている。			
132	現在、自粛で休まれている利用者はいないが、この先休まれる場合を考慮し、百歳体操を利用日の午前と午後とで2回実施し、ご自宅でも自主トレできるよう力を入れて指導している。			
133	利用を自粛された方に、運動メニュー（写真付き）とチェック表を送付。併せて、健康維持の為に食事バランスチェック表も送付した。			
134	看護師（コミュニティーナース）が作成したリーフレットを定期配布した。イラストとワンポイントアドバイスで解りやすく解説しており好評である。 ①コロナウイルスと予防対策・フレイル予防 ②マスクの正しい使い方とワンポイントアドバイス ③熱中症にご注意ください。「マスク熱中症」生活改善 ④手洗いで不安も洗い流そう！メンタルのイメージトレーニングと深呼吸・ストレッチ・足踏みなどフィジカル的な要素との組み合わせが効果大。	山陽病院 通所リハビリテーション	084-923-1133	
135	コロナウイルス感染予防のため、お休みされた利用者に対し、脳トレと自宅での運動（ホームプログラム）の写真付き解説を送付し機能低下防止に努めた。			
136	チラシなどを活用して新しい生活様式の啓発。			
137	「市長のコメント」や「三密を避ける」POPなど活用。			

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
138	利用者への資料配布（手洗いの仕方、マスクの扱い方、熱中症と感染予防の両立等）	株式会社QOLサービス	084-948-0439	
139	デイ利用自粛利用者へのサポート ①自宅での訓練動画のアップ ②自宅での訓練DVD配布 ③自宅での活動ツール貸与（万歩計、訓練用ゴムチューブ等） ④自宅でのトレーニング資料配布 ⑤自宅での脳トレプリント配布 ⑥自宅での運動意欲を高めるツール配布 ⑦自宅での活動意欲を高めるための作品展実施 ⑧自宅自粛利用者へリモート誕生会実施 ⑨自宅待機利用者へ他の利用者からのメッセージ色紙配布 ⑩その他	株式会社QOLサービス	084-948-0439	

新型コロナウイルス感染症を予防し、自宅で元気に過ごすために、
こちらのパンフレットも御活用ください。

■いきいき百歳体操パンフレット

■広島県 高齢者の皆さま向け啓発リーフレット

■おすすめ筋トレメニュー

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/koho-detail07/koho-202005/183670.html>



ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」

2-6 ケアマネの知恵や工夫

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
140	訪問の日程の連絡をする際は体調確認をしている。訪問時は3密を避けるように気をつけている。	福山市地域包括支援センター	三吉町南	084-927-9039
141	月1回の定期訪問（モニタリング）に関して。事前に利用者宅へ連絡し、訪問の可否を確認した。また訪問の際は、短時間での面会、玄関先での面会を心掛け、密の状態を極力避けた。			
142	利用控え等している利用者の中で、A D L・認知機能等の低下が見られる人がいた。機能が低下しないように積極的にケアプランの見直しを行っている。			
143	緊急時に対応してもらえる事業所の情報収集を行っている。			
144	利用している事業所にクラスターが発生した場合を想定し、事前に代替策を検討している。本人・家族に事前に意向を聴きとったり、家族支援がどこまでできるか等を確認している。			
145	居宅介護支援事業所の職員に陽性者が確認された場合を想定し、利用者ごとに、本人・家族・利用している事業所・その他関係先の緊急連絡先を含む一覧表を作成した。また、ケアマネ自身が陽性者となった場合等の緊急時に他のケアマネでも臨時的に対応ができるよう連携して、体制を整えている。			
146	居宅介護支援事業所の職員に陽性者が確認された場合を想定し、あらかじめ利用者や家族、サービス事業所等へどのような対応になるかを説明をした。特に利用者・家族へは、担当ケアマネ以外から連絡がある可能性があることについて説明をして同意をもらっている。			

第3章 来訪者への対応

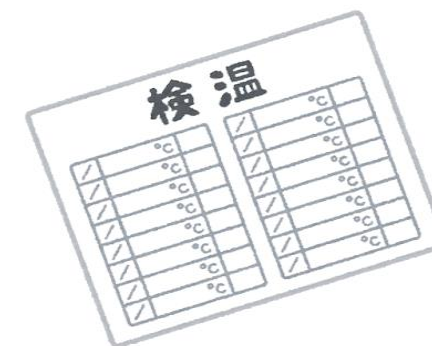
3-1 入館前

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
147	失敗例：玄関の貼り紙が小さかったのか、運送屋の方が建物内に入られた。			
148	玄関窓にA4でポスターを作成したが、気づかれない為、B4サイズのポスターに変え、来客様が分かるように貼り替えた。			
149	外部の人が来所した際、入り口で呼び鈴を押して床に貼った黄色のテープの線で待ってもらうよう、衝立に張り紙を掲示した。黄色のテープにも明記して注意喚起した。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	
150	来客者へイラストや口頭にて手指消毒やマスクの着用を依頼した。			
151	「足形のイラスト」を廊下に貼り、来客者に事務所外で待機してもらった。			
152	施設の玄関に長机を設置し、消毒液、体温計、入館名簿記入用紙、注意事項などの用紙を準備した。その長机であえて通りにくくすることで入館チェックを行いやすくした。	株式会社かもめいと	084-922-6355	



3-2 記録

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
153	来所相談後の面談室は消毒し、来所人数・時間・マスク有無を記録している。訪問先でも同様に記録した。	福山市地域包括支援センター 箕島	084-981-1856	
154	事業者の事務所入室制限を行い、相談者等の入室の場合は健康チェック表の記載とマスクの着用と手指消毒を促す。			
155	サロンの出席者名簿に連絡先の記入、着席位置を記入するなど追跡調査が行えるようにしている。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	



3-3 対応

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
156	相談室で対面着座での飛沫防止としてシールド設置，終了時は消毒。			
157	玄関に透明の間仕切りを設置して，事業所の方との対応が安全にできるようにしている。	福山市地域包括支援センター 箕島	084-981-1856	
158	家族の面会を予約制として面談室で面会してもらっている。利用者の移動や物品の受けとりなど，職員の業務が増えているが仕方がない。	株式会社かもめいと	084-922-6355	
159	面会は他の家族等と重ならないよう予約制で，面会者は検温，手指消毒，健康チェックの記入をお願いし，場所は玄関内で入居者もマスク装着して，オーバーテーブルにアクリル板の衝立を置き，面会者は1人だけで対面で10分間にした。	グループホームかがやきホーム新湯野	084-963-6555	
160	家族の面会は，時間を決め予約制にし，各階おどり場に面接ブースを設置した。			
161	来所相談の方へのお茶出しを中止して，常にマスク装着して頂くようにしている。	福山市地域包括支援センター 箕島	084-981-1856	
162	マスク無しで来られた方，訪問先でマスクをしてない方には布マスクを配布している。	福山市地域包括支援センター 箕島	084-981-1856	
163	人との接触を最小限にする為，他事業所が書類を持参する際はポスティング又は玄関先での受け渡しで行っている。	社会福祉法人明翠会 北斗	084-930-4500	



3-4 ICTの活用

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
164	Zoomを使つての家族との面会（他県）。			
165	ご利用者様とご家族様のご理解・ご協力のもと、透明シート越しやガラス越しでの面会、「LINE」を使ったビデオ通話での面会を行った。	株式会社ディア・レスト福山	084-977-0880	



第4章 健康管理

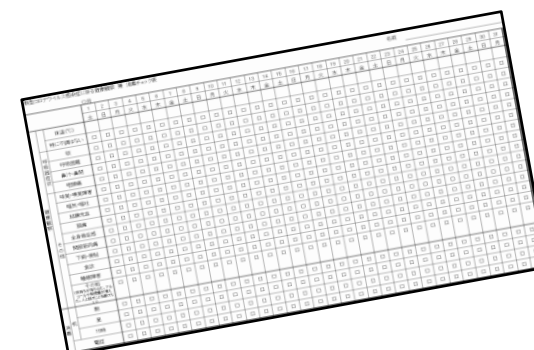
4-1 利用者の健康管理

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
166	ご自宅での検温をお願いしているが、送迎時にも車に乗り込む前に検温を実施。風邪症状や体調不良の有無を確認した。			
167	利用者様・ご家族様に対し、文書にてご自宅での検温をお願いし、体調不良時の利用中止をお願いした。			
168	県外へ行かれた利用者のご家族の体温も毎回報告をいただく。			
169	訪問時に利用者・家族の検温をお願いしている。			2021年3月追加
170	自宅で検温をするよう利用者をお願いをしていたが、徹底が難しいことが分かったため、送迎車内に非接触型体温計と消毒を常備し、職員が検温・消毒の支援をすることにより、御利用前の検温を確実に実施できるようになった。			2021年3月追加
171	朝だけでなく、昼食後にも検温を実施している。			2021年3月追加
172	本人が脇に体温計を挟むのが難しい利用者の場合は、非接触体温計を利用している。			2021年3月追加
173	サーモカメラを設置して検温している。			2021年3月追加
174	玄関だけでなくデイルームと送迎車にも非接触型体温計を設置し、検温している。			2021年3月追加

4-2 職員の健康管理

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
175	毎朝サービスに入る前に検温の報告を義務付ける。(Eメール)	有限会社愛の手	084-920-9127	
176	会議実施時やサロンなどの際は非接触性体温計を使用し、体温チェックを実施している。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	
177	出勤時は手洗いと手指消毒し、出勤時と退社時検温と症状を記入して、職員の体調チェックを行い、37度以上の人は退社するようにした。	グループホームかがやきホーム新湯野	084-963-6555	
178	万一の感染発生時に備えて、各職員が誰とどんな接触をしたのかを確認できるよう、訪問記録や行動内容を詳細に記録するようにした。			
179	プライベートの県外への外出を控える。			
180	県外の移動は控えるよう各職員へ呼びかけている。	社会福祉法人明翠会 北斗	084-930-4500	
181	現在においては、福山市内の発症がある為、スーパーなどの買い物以外の外出を控える。			
182	プライバシーにも関わるが、職員の家族においても、県外等への外出があれば自己申告していただく。			
183	職員へ面談を行い、コロナ禍の中で働くことに対する不安を傾聴する等して、働き続けるうえでの不安を払拭するよう心掛けている。			
184	職員の健康チェックは出勤時と午後の2回行っている。			2021年3月追加
185	出勤者のみならず、休んでいる職員も体調の報告を行っている。			2021年3月追加
186	出勤時のタイムカードの前に体温計とチェックボードを置き、出勤する際に各自忘れずに検温や体調の記録ができるようにしている。			2021年3月追加
187	体調管理システムを導入し、本人の体温、その他症状の有無、同居家族の異変の有無を職員各自が入力し、管理が出来るようにしている。			2021年3月追加

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
188	出勤前に必ず検温を行い、出社時には健康管理月報の記録を行っている。 月報は、コロナ症状の確認、不要不急の外出などの有無、感染予防策を家庭でも徹底できているかを確認できるものになっている。			2021年3月追加
189	職員が発熱したときは、病院受診をして結果を上司に報告する。職員が感染流行地域に往来した場合は、出勤後1日5回の検温と健康チェック表の記入を2週間行っている。			2021年3月追加
190	非接触温度計を施設内で20台以上購入し、職員・利用者・外部からの訪問客がスムーズに検温出来るようにしている。 職員に風邪症状があれば保健所に相談し、必要に応じて受診している。勤務も交替し、休ませている。			2021年3月追加
191	職員の体調がすぐれないときや家族がPCR検査を受けるときは、すぐに上司に報告することを決めている。			2021年3月追加



第5章 啓発・情報共有

5-1 啓発

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
192	自粛生活によるフレイルを防止するために、フレイルについてのポップを作成、掲示し、体力低下の防止・免疫力の強化を促した。	デイサービスセンターマーブルワン	084-945-5073	
193	コロナウイルス感染症についてのテキストとパワーポイントの説明資料を作成し、看護師から1週間毎日コロナ感染予防の勉強会を利用者向けに行い、テキストを家に持って帰ってもらい、利用者と家族にも見てもらえるようにした。	デイサービスセンターマーブルワン	084-945-5073	
194	利用者への定期的なコロナ感染予防への啓発。			
195	帰る前の口腔体操後に併せて、コロナ関係（手洗い、手指消毒、咳エチケットなど）の注意喚起を行った。			
196	うがい、手洗い、咳エチケットなど新型コロナウイルス感染症予防について包括の広報を作成し配布、各自気をつけてもらうよう啓発した。	福山市地域包括支援センター 三吉町南	084-927-9039	
197	職員へ新型コロナウイルス感染症に対する注意事項を配布し、感染症予防への意識付けを行った。	株式会社ディア・レスト福山	084-977-0880	



5－2 情報共有

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
198	職員に出勤時の手洗い、体温チェックを徹底、県市の状況に応じた外出制限の情報提供を行い、一人一人が予防へ意識を高めることに努めた。	株式会社かもめいと	084-922-6355	
199	コロナに関する情報を適時流す。 目的 ①適切な感染予防行動 ②利用者の過度の自粛防止 ③職員の過度の不安、恐怖の除去⇒退職等の予防 ④コロナ差別誹謗中傷の防止 ⑤感染経路となった職員を守る 他	株式会社QOLサービス	084-948-0439	
200	感染症予防及び対策に関する動画の情報を全スタッフに配信し、情報の共有を図った。			
201	感染症関連の通達（メール）が毎日のようにあり、確認作業が日課となる。各人に口頭指示することもあれば、資料閲覧し、再確認できるよう、情報の重要度を取捨選択し、混乱が生じないように心掛けた。			
202	近隣での感染者情報やマスク・消毒液などの流通情報など（価格変動）、関連事業所や他居宅介護支援事業所と情報共有。			
203	福山市や近隣市町の感染状況を「LINE」で職員へ流し、情報共有を行った。	株式会社ディア・レスト福山	084-977-0880	



第6章 感染発生時に備えるための取組

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
204	コロナウイルス感染症発生時の対応マニュアルを作成し、いざという時のための対応方法を職員に周知した。	デイサービスセンターマーブルワン	084-945-5073	
205	新型コロナウイルスのマニュアル・フローチャートを作成し、感染対策に備えた。	医療法人紅萌会福山記念病院	084-922-0998	
206	「新型コロナウイルス感染疑い発生時の対応の仕方」を法人として作成し、万が一、感染者が発生しても、あせらず対応できるよう、全スタッフに周知した。			
207	福祉用具の回収の流れに対して、業者との話し合いをして、感染症発生時の回収マニュアルを作成した。			
208	新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成した。	株式会社ディア・レスト福山	084-977-0880	
209	どういった場合に自主的に営業時間の短縮・受入中止・休止を行うかを検討し、ケアマネへ情報提供している。			
210	感染者発生かつ入院拒否時の対応計画策定（全国的に第一波までは要介護高齢者（特に認知症者）は入院を断られる事例が多発したため） ①隔離療養場所、ケア方法等の確保 ②介護職員用感染予防の諸用具（ゴーグル、N95、予防着）、機器（紫外線滅菌機、高温滅菌機等）の確保 ③感染発生部署での勤務可能者の選出（本人意思にて）など	株式会社QOLサービス	084-948-0439	
211	感染発生時の法人内での職員派遣体制の確保 ①感染発生部署での勤務可能者の選出（本人意思にて） ②通常時に相互部署研修（お互いの部署のやり方を見学する） ③環境整備の推進 [第一波では、他の施設から応援に行ったものの、どこに何があるかわからない、必要な情報がどこに書いてあるかわからないため、応援に行っても十分機能しなかったといったことが多発したため]	株式会社QOLサービス	084-948-0439	

第7章 その他

No.	知見・事例・取組等	法人名又は事業所・施設等の名称	電話番号	備考
212	国の臨時的な取扱い第12報による2区分上位の算定について、算定の趣旨と具体的な追加する負担分金額を示し、直接説明し、御納得いただいた。	山陽病院 通所リハビリテーション	084-923-1133	
213	国の臨時的な取扱い第12報による2区分上位の算定について、説明文、同意書を交わす際に料金を具体的に示し説明すると、利用者・家族の同意が得やすく、トラブルにも繋がらなかった。			

